

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フラワーパーク		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 19日	～	令和7年 9月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 19日	～	令和7年 9月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの学習や日々の様子を丁寧に把握し、保護者の方と共有している点が高く評価されています。	職員は日々の朝礼や終業後の時間を活用し、子どもの様子や支援方針について情報を共有しています。職員全体で同じ理解を持つことにより、一人ひとりに合った支援を実現できるよう意識しています。	職員間の情報共有を継続するとともに、子どもの様子についてのミーティングをこまめに開催し、支援の質を高めていきます。
2	子どもたちにとって安心して通える場所としてとなっており、保護者の方からも信頼をいただいています。	子どもの変化や悩みにも細かく意識して対応し、保護者との連携を大切にしています。相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係を築いてい食ことができるように努めています。	職員間の情報共有を継続するとともに、子どもの様子についてのミーティングをこまめに開催し、支援の質を高めていきます。
3	年齢や性別を超えた交流が自然に行われるよう、遊びや学習を通じて子ども同士の関わりを支援しています。	高学年と低学年が関わり合えるよう配慮し、学習や遊びを通してお互いに成長できる機会を広げられるように意識しています。	子どもの様子をこれまで以上にきめ細かく伝え、保護者の方が安心して通わせられる体制を強めていきます。高学年の子どもが低学年に教える機会を大切にし、双方の学びと成長をさらに広げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型のイベントや交流の場を設けることが難しい状況が続き、申し送りの際に状況や過ごし方についての詳しい説明は心がけていても、実際の普段の子どもの様子を知る機会が少なくなっています。	子どもの活動を保護者に伝える方法や、保護者同士が交流できる場の必要性を意識しながら、職員間でも検討を重ねています。普段の姿を保護者の方が見学ができるような機会についても、実施の可能性を探っています。	保護者が子どもの成長を身近に感じられる場をつくり、保護者同士の交流にもつながるような企画を検討していきたいと考えています。安全面や実施方法に配慮しながら、できる範囲で交流の機会を増やしていけるよう努めてまいります。
2	雨の日には外階段が濡れて滑りやすくなり、転倒の危険があるなどのご意見を複数いただいています。日常的に使用する場所であるため、安全面での配慮が必要な課題となっています。	子どもたちが安全に通行できるよう、職員が登降時に声をかけたり、必要に応じて付き添ったりするよう努めています。また、雨天時には特に注意喚起を行い、事故が起こらないよう意識しています。	引き続き安全への配慮を徹底するとともに、外階段の滑り止め対策(テープなど)などを用いて安全に配慮します。保護者からのご意見も参考にしながら、子どもたちが安心して利用できる環境づくりに努めてまいります。
3	同グループ内での交流は今年度も何度か行っているのですが、現在、地域とのつながりの場が十分に持ていない状況があります。子どもたちにとっても地域との関わりは大切であり、意識して取り組む必要がある課題と考えています。	これまでに、他の放課後等デイサービスからのお声かけでイベントに参加する機会がありました。そうした経験を踏まえ、今後は私たち自身が主催となり、地域の方々や他事業所を招いて交流できるようなイベントを計画することを検討しています。	職員、子どもたちとも話し合いながら、地域と一緒に取り組める活動を少しずつ広げていきたいと考えています。地域の方々や他事業所との関わりを深め、子どもたちが安心して参加できるイベントを企画・実施できるよう意識して取り組んでまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス フラワーパーク

公表日 2025年10月31日

利用児童数 令和7年 9月 30日 31名

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17		1	4		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4	1	7	外の階段が雨の日すべらないか心配。	滑り止めのテープなどの貼り付けを検討中。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1	色んなイベントをありがとうございます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12			10	他の事業所さんとの夏祭り参加で交流があったと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4	1	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22				連絡ノートや送迎時にデイでの様子をお知らせさせていただきます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1	本人の希望を聞いて学習の量を調節してくださっています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	3	2	14		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	長期休みなどごちらの事情を配慮していただいています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22				定期的に避難訓練があります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			2	少しの傷も報告してください。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				宿題の支援はしっかりと、それ以外の学習はほとんどなく放課後ゆったりと過ごせていると思います。本人と保護者のニーズに合った支援を受けられると思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	1	1	土曜日も行きたいと言っています。 ご連絡をいただければ空き枠があればその都度対応させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス フラワーパーク		2025年 10 月 31 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			・机や落ち着けるスペースがあるとよい。 ・おおむね適当ではあると思うが、成長している児童も多くなっているため、手狭に感じることはある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・滑り止めテープを階段に張っている。	・外階段や机の角などで多少危険を感じる部分がある。 ・車いすなどが来た場合登れない。 ・支援の環境についてふさわしい環境づくりについて話し合っていけたらよいと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		・清潔を保てるように、掃除をしていけたらよい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			・学習は隣の事業所のスペースを借りるなど工夫している。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		・会議（話せる時間）があまりない。増やしたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			・よい話し合い、有益な機会が設けられている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・相談員さんなどとの連携の際に評価をいただくことはある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			・定期的に社内での研修は行われている。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		・本日の振り返り、情報共有など支援のアドバイスをよく行われています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			・具体的な観察がなされています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		以前利用していた放課後等デイサービスなどとの連携は積極的にとっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	・計画は策定されています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・丁寧に説明がなされています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	・他事業所から招待されるイベントなどもあるため、こちらからも招待して行いたいとは考えている。	今後行っていくために現在検討中。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				